

すぎのこつうしん

平成28年5月
古川東町カトリック保育園

「友だちを大切にすることを育みましょう」

園庭のプランターの花が満開です。

入園、進級してから1カ月が過ぎ、新しい環境にも大部慣れた頃でしょうか。毎朝泣いて登園していた子どもたちも少しずつ担任にも笑顔を見せてくれるようになりました。

それと同時に疲れも出て来て、発熱や下痢など体調を崩している子もいるようです。子どもなりに頑張っているのです。子どもは柔軟に環境に対応していく強い力をもっています。

担任に慣れてくると、今度はお友だちに関心をもち始めます。0歳児の小さな子どもたちでも、友だちを目で追ったりし、興味を持ちます。少し大きくなってくるとどうやって遊ぶかが分からずつい手を出したり、思いどおりにならないと噛みついたりする事もあると思います。うまく話すことができればいいのですが、大人が少しずつ知らせていかなければどうしたらいいのかわからないのです。友だちと関わる中でこそ、そこで生きていく術を身に付けることが出来ます。成長の過程でもあります。社会性を育むためにも子ども同士たくさん遊ぶ機会を作りましょう。大人が目配り、心を配り、気を配りながら関わりを持つことが大切です。保育園はたくさんの友だちと関われる最高の場です。友だちとたくさん遊び、友だちを大切に、お互いが成長できる5月にしていきたいです。

5月には5歳児が八百屋市に野菜の苗を買いに行きプランターに植えて始めます。生命の大切さを感じながら大地の恵みをいただくことを感謝できたらと思います。はたして今年ほどのくわい収穫できるのかとても楽しみです。

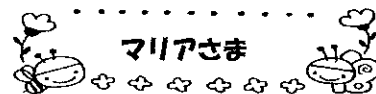
<園長 平野 義子>



5月生まれのお友だち

おたんじょうび

おめでとう!!



マリアさま

1 マリアさま

おててあわせて いつのひも
わたしのために いのりくださる
おきるから やすむときまで
ちちははの みこころにそい
よいこであれと

2 マリアさま

おててあわせて いつのひも
わたしのために いのりくださる
めがさめて いえずすまりあ
よせふさま まもりたまえと
いのるようにと



1 めだかのがっこうは かわのなか

そっとのぞいてみてごらん
そっとのぞいてみてごらん
みんなでおゆうぎしているよ

2 めだかのがっこうの めだかたち

だれがせいとかせんせいか
だれがせいとかせんせいか
みんなでげんきにあそんでる

3 めだかのがっこうは うれしそう

みずにながれてつーいつい
みずにながれてつーいつい
みんなでそろってつーいつい



ぼんび組 (0歳児)

- <ねらい> ・一緒にいる友だちに興味を持ちながら生活する
・天候や気温に応じて衣服の調節を行ってもらうことで気持ちよく過ごす
- <家庭連携> ・入園して1カ月が経ち、体調を崩しやすくなるので、家庭でゆったりと過ごすように心がけましょう
・日によって気温差が大きくなり衣服の調節を行っていくので薄手の服など多めに用意してください

ひよこ組 (1歳児)

- <ねらい> ・安定した生活の中で友だちとの関わりを喜ぶ
・生活リズムを整え、快適に過ごす
- <家庭連携> ・会話の中でクラスの友だちの名前を話すことにより、「友だち」に興味を持てるようにしましょう
・連休中生活リズムが大きく崩れることのないようにし、疲れを十分にとって登園しましょう

ことり組 (2歳児)

- <ねらい> ・友だちや保育士と一緒に遊ぶことを楽しむ
・身近な自然に触れ興味をもつ
- <家庭連携> ・友だちや周りの人を大切にする気持ちを知らせていきましょう
・連休があるので、生活リズムや体調が崩れないようにしましょう
・手足の爪が長い子が多いようなので切ってください

こねこ組 (3歳児)

- <ねらい> ・友だちを思いやる気持ち、大切にすることを育つ
・生活リズムを整え、好きな遊びを楽しむ
- <家庭連携> ・友だちと遊んだことや園での出来事を聞き、友だちに優しくする大切さを知らせましょう
・新しい生活や連休の疲れが出てきます。規則正しい生活やゆっくり休息することを心がけましょう

うさぎ組 (4歳児)

- <ねらい> ・友だちを大切に、思いやりの心を持ち生活する
・戸外で遊ぶ心地良さを感じる
- <家庭連携> ・友達へ思いやりのある関わりを知らせていきましょう
・自然に触れながら、共に体を動かして遊びましょう

ひつじ組 (5歳児)

- <ねらい> ・友だちを大切に、共に喜び悲しみを分かち合う心が育つ
・生活リズムや食事の大切さに気づく
- <家庭連携> ・その日の友だちとの出来事を聞いてみるなど、友だちとの楽しい関わりから大切に気づけるようにしていきましょう
・家庭でも早寝早起きを習慣づけ、朝ごはんをしっかり食べてきてください

☆給食室から☆

新しいクラス、お友だちにも慣れ安心した気持ちで過ごせるようになってきました。5月も無理なく食べられる給食を心がけたいとおもいます。連休で生活リズムが崩れやすくなります。朝・昼・晩の食事と早寝早起きを心がけ規則正しい生活を送りましょう。

「友だちを大切にするところ」



カトリック保育園に新しいお友だちが仲間入りして、早1カ月が過ぎました。中には自分の弟や妹が入園した子もいて、嬉しさ半分泣いていないかなあ、と心配する姿も見られます。特に0歳児クラス前のテラスは、いつもそんなお兄ちゃんお姉ちゃんのお客さんでいっぱいです。「どんな赤ちゃんがいるのかなあ」「あっ!笑ってだ」「おすわりしている」「こっちを見た!」等々、窓越しに覗いている進級児。興味津々、且つワクワク感が伝わってきます。

子どもたちは概に「新しいお友だち」として受け入れ、お兄ちゃん、お姉ちゃんとしてお手伝いをする出番を待っている様子も感じられます。

大人になると、初対面から「友だち」というふうにはいかないものですが、子どもたちは何のためらいもなくお友だちとしての関係を築ける凄腕を持っていることに感心させられます。保育園という初めて出会う小さい社会の中で友だちと沢山遊び、様々なことを体得しています。困った時は助けをあげる、悲しいことがあったら思いを寄せる、嬉しい時は一緒に喜び合う。そんな人に成長していきけるよう先ずは身近にいる大人がいつも優しい気持ちで接しそれが子どもへ、そして友だちへと伝わっていくよう努めたいところです。

<主任 山田 紅美子>



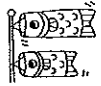
☆ 熊本地震救済のための募金をしています。私たちは東日本大震災を経験し、たくさんの支援と援助をいただきました。その時感じた感謝の気持ちをこめて今度は私たちが支援しなければと思います。園長室前の黄色いポストに募金をよろしくお願ひします。日本赤十字社を通し献金したいと思います。

☆ 5月28日(土)に遠足があります。家族やお友だちと出かける素敵な機会ですので元気に笑顔で楽しんでいきましょう!!

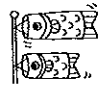
☆ 島山先生が5月3日から産休に入ります。

☆ 高橋明菜先生が元気な男の子を出産しました。

☆ 3歳児～5歳児のクラスで家族の似顔絵をかきました。ヨークベニマル福満店にて1日から8日まで展示されます。ぜひご覧になって下さい



あなたの一分間拝借！



どうして保育園で働くようになったの？と伺うと、多くの方々は「子どもが好きだから」と答えてくれます。

果たして「好き」だけで保育士の聖務を実行することができるのでしょうか？保護者と共に人間教育という聖務に参加する仕事であるだけに心配するのは私だけではないと思います。

愛情は好まない者には注がれにくいものです。気に入るもの、お眼鏡に適っているものには、目がないほど可愛い、最高の愛情が与えられるものです。知らないうちに、自分では一生懸命保育しているのに、差別という魔力にとらわれ、トラブルの種（たね）を創ってしまいます。平等に保育したつもりでも悲しい結末を体験する時がありますので、絶えず自己反省して、七転八起保育戦線の華（はな）と散る覚悟で全身全霊を育児教育に捧げてほしいと思います。人間性教育には、愛情だけでなく、愛の心で共育し合う神秘に目覚めて頂きたいものです。

育児は、愛がなければ本物の育児にはなりません。愛は人格完成への道であり、人間本来が神から与えられたエネルギーです。すべての人間に潜在している力で、人間性教育はそれを保育の流れの中で活用できるように引き出してあげる奉仕であるといっても過言ではないと信じます。なぜなら神は愛であり、ご自分に像って（かたどって）人を創造されたからです。神はその潜在能力を活用することを見守っております。皆で創意工夫して各自の出会いに役立たせてあげる奉仕に汗を流しましょう。

カトリック保育園は、愛情だけでなく愛を以って育児に奉仕する場です。このことを無視しては当園で働く意味がありません。他の保育所との違いを見直し、カトリック理念を祈りと聖書から学び、子ども達が本来持っている愛の心、力を心の中から引き出して挙げる奉仕に尽力してほしいものです。

5月は、「友達を大切に作る心の育成に力を尽くしましょう」を心の保育目標としております。新約聖書の善きサマリア人の喩え<ルカ10の25～37>を黙想しながら弱者に対する隣人愛から友達を大切に日々を生きる姿を学びとるようお勧めいたします。そこには愛の仕業は、正しい「ありかた」以上の価値が神の御前に存在することを人類に啓示されていることに心の目を向け、5月の目標に挑戦してほしいものです。

隣人愛の実践を心から実践するところには、多くの友だちが集まることでしょう。神と共に永遠に生きる道が開かれているのですから。本当の友達を得る喜び、生涯忘れる事がない友達、まさに仲の善い友達になれるよう祈りましょう。民族を超え、身分を超え、敵対関係を超越して行われる隣人愛は、自分の力だけでは不可能に近いものです。誰でも自分が一番可愛いものですから、この壁を超えるためには愛である神との関わりなしでは難しいことです。

善きサマリア人を良いサマリア人とは言いません。サマリア人が行ったことは良い行いではなく、善い行いだからです。善と良は何処が違うのでしょうか？広辞苑を見ますとどちらも「すぐれている」を意味しているのですが、よく見ると違いが分かります。〔善〕は道理に適っていることを意味し、心と関わりのある言葉であることが示されています。「良」は、「質」を表すと同時に〔知性〕とのかかわりがあることに気がつきます。

善…善を責めるは、朋友の道なり<孟子>善に従うことは、水に流れるが如し！

良…頭の良い人、成績の良い人、あそこは家を建てるに良い土地である。天気が良い、善いとは言わない。

良い友は、必ずしも善い友とは限らない。その逆も真です。どちらかと言えば「善い友」となれるように互いに努力することが肝心ではないかと思えます。良い友と言われても、あいさつ、ありがとう、謝り合う心が身に付いていなければ平和な交わりは期待されないことに目覚めてほしいもので、自重自戒いたしましょう。信じ合う世界から遠ざかることとなります。

保育指針の領域が改正されてから大分年月が経っていますが、『関係』という領域について求められている五つの課題に心の目を向けて頂けたら幸甚です。

- ①友達と自分から進んでかかわるように気配りすること
- ②友達とのかかわりの中で言うてはいけないことや、してはいけないことがあることに気付かせるように配慮すること
- ③友達と楽しく生活する中で「きまり」の大切さを気付かせる
- ④友達と自分がよりよき人間に成長するためにとても大切なそして自分にとってなくてはならないことに気付かき合うように呼び掛け合いながら共に人格完成を目指すこと
- ⑤友達との交わりは、お互いの社会性を養い高める

物質文明、ハイテク技術の豊かさに囲まれ、機器依存症に陥り、人としてあるべき姿が喪われ、孤独の道に入り込み、自己満足の間人が家庭や社会を崩壊、混乱させている現実を直視し、各自が原点に立ち、人間は神の似姿として創造され、愛である神のかたどりとして互いに交わり合いながら、与えられた人間性を磨き合い、社会性を深め、神の愛に応えるように招かれていることを肝に銘じ愛の質を清め且つ高めてしかるべきと思えます。まさに人は人間的存在（じんかんできそんざい）である真理を心に刻み5月の日々を過ごしましょう。

カトリック古川教会 司祭 川井 啓

